小須戸公民館報

発行所 小須戸町中央公民館
発行人 成田常信
発行日 毎月15日
印刷所 (有)昭栄堂印刷所

第36回新潟県公民館大会開かる

（新発田市）

当町より３名、県の表彰を受ける

去る七月二十六日（金）新発田市民文化会館にて、第三十六回新潟県公民館大会が開催されました。

「生涯教育推進の基幹的役割を果す公民館活動のあり方」をテーマに県内各地より約六百人の大会となりました。

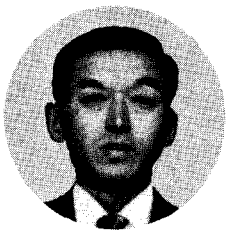
佐藤真武県公民館連合会長代行のあいさつに続いて優良公民館と公民館運営審議委員、非常勤公民館職員の表彰に移りました。

当町では、長年公民館活動で活躍された方の中より次の方々が、推せんにより表彰を受けられました。

文京町一　松沢　キヨさん
小向　中野　武さん
新保二　古田　恒夫さん

長年にわたり公民館活動の推進に努められ、よく地域文化の発展に尽くされました。……という表彰状を手にされました。その後講演、パネル討議を行って県公民館大会は閉会しました。

古田恒夫さん



中野　武さん

松沢キヨさん

松沢さんは昭和四十年に中央公民館の運営審議委員に就任以来、社会教育委員などを歴任されました。

中野さんは昭和四十一年に横水分館運営審議委員に就任以来、横水分館主事などを歴任されました。

古田さんは昭和四十五年に新保分館主事に就任以来、六十年三月まで分館運営に尽力されました。彼表彰者の方々の益々のご活躍を期待いたします。

県公民館大会に参加して

中央公民館運営審議会委員長　河内与己次

この度第三十六回新潟県公民館大会に参加して田代元弥先生の講演を聞いて深く感動致しましてここにその一部を御紹介致します。

公民館をめぐる教育上の課題、かけ声の大きさに比べて現実の生涯教育体制は容易に整う兄通しを得られていない。しかも、わが国の教育界は危急存亡のふちに立たされるに至っている。この時に当り、公民館は望ましい生涯教育活動実践にむかって先頭を切らなければならない。

このような大事な時に運営審議委員として勉強不足であったことを痛感しております。

また今大会では長年にわたり公民館活動にご尽力されました松沢キヨさん、中野武さん、古田恒夫さん本当に御苦労様でした。この度の県公民館連合会の表彰を受けられました事を心よりお祝い申し上げます。

公民館のクラブ紹介（9）
いかだ下りに挑戦
サークルあおぞら

どうもご無沙汰してました。サークルあおぞらです。

今私達は、信濃川の〝いかだ〟下りに挑戦しています。

いかだと言いましても、ただ丸木を束ねるのでなく、色々な材料で〝いかだ〟の部分とその上に乗せる〝デコレーション〟の部分を作りあげるわけです。

素人の集まりが〝いかだ〟を作るので、苦労に苦労を重ね、連日の猛暑の中、玉の様な汗を流して私達は頑張っています。

この信濃川手作りいかだ下り大会は、某新聞社主催で、出場チーム数は、100チームを超える数ですが、私達サークルあおぞらは一位を目指して死にものぐるいでいかだをこぎつづけるでしょう？

いかだの推進方法は専ら人力ですから、当日私達は両手に血豆を作ってオールをこぎ、奪闘するつもりですが、雄大な信濃川をのんびり下る楽しみも、味わってみたいと思います。

本番は8月11日ですから、この通信をご覧になってる頃には終了していますが、サークルあおぞらに興味を持たれ、どういう変人の集まりかのぞいてみたいと思われましたら、公民館までご一報下さい。御招待いたします。

県展入選作品紹介

新町四　菊地　閑月（伸一）

題――李白詩五首

感想――多字数作品だったので文字順がどうにか頭に入るまで時間を要しました。モチーフに接近している事と百字を確認し、ほっとした日を思い出します。

柔剣道振興会だより
合宿終る

猛暑の続く七月二十七日より三十一日の四泊五日間、恒例の剣道夏季合宿講習会が笹神中学校を会場に開催されました。

今年は第三十回の記念すべき講習会で、総勢四百有余名の小中学生一般の参加があり汗もかれんばかりの練習を全期間みんなでがんばり通しました。

当町よりの参加は小学生十三名、中学生二十九名、一般三名合計四十五名でした。三十日には記念大会があり講習会の成果もあらわれ健闘し次のような成績でした。

小学生五、六年の部
三位　広瀬観樹

中学一年男子の部
三位　藤田隆之

中学女子の部
一位川瀬理恵　三位井本久美子

中学二、三年男子の部
三位星名桂司　三位星田祐樹

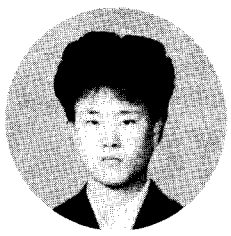
中学生団体戦は男女とも措敗しました。

昇段おめでとう（剣道）
（7／31　笹神中に於て）

初段
一般　風間栄一（若葉町一）
中学生　十四名
川村公成、伊丹広海、夏川伸也
斉藤高峰、阿部英也、中山孝
藤田隆之、風間祐輔、高橋洋
竹石勝彦、城丸康伸、花沢幸夫
川瀬理恵、井本久美子

二段
井上康雄（新津南）黒井邦修（新津南）渡辺康（新津南）
吉田淳（新津南）五十嵐誠（新津高校、五泉市於昇段）

全国高等学校定時制通信制卓球大会に出場
健闘を祈ります



中村　晃さん

新潟市立明鏡高等学校一年生小須戸町本町四丁目の中村晃さんが、八月十一日より開会された全国高等学校定時制通信制卓球大会に出場しました。県大会では第一位の成績でした。

「精一杯がんばってきます。」と本人の決意を聞かせていただきました。健闘を祈ります。

住宅金融公庫の第二回個人向け融資の申し込み受け付け開始

次のとおり金融公庫の申し込みがはじまりますのでご利用ください。

貸付種別　一般住宅建設資金及び建売住宅購入費
融資予定戸数　四万九千戸（全国）
受付期間　昭和六十年八月十五日（木）～九月十日（火）
その他　公庫資金と併せ貸しとして融資される年金被保険者住宅資金についても、公庫の第二回個人向け融資と同時に受け付けを開始します。くわしいことは住宅金融公庫または取扱金融機関でお尋ねください。

防火管理者資格講習会の開催

白根地区消防本部では次により防火管理者資格講習会を開催いたします。

期日　昭和六十年九月五日（木）～六日（金）の二日間
会場　白根市青年教育センター
資格　成年男子であること。ただし特殊な事業所等にあっては女子でもよい。
申し込み　八月五日（月）から二十一日（水）までに白根地区消防署小須戸分署または白根地区消防本部へ申し込んでください。また不明な点は白根地区消防本部予防第一係（電話〇二五三―七二―三一一一番）へ連絡ください。

精神衛生巡回相談会　日時：８月23日（金）　会場：保健センター集団検診室　相談内容：精神衛生及び酒害予防相談

勇壮小須戸喧嘩祭《燈籠押し》を見る

また今年も勇壮な喧嘩祭の時期がやって来ました。

小須戸町史の記録の中より一枚の写真を見つけました。その写真は明治四十年頃撮影された貴重な写真です。

写真は燈籠押し合いの場面で、見物の人もたくさん見えます。喧嘩祭の昔はいったいどういう祭だったのか、今との違いはどんな所にあるのだろうか、昔の祭を知りたくなりました。

そこである古老の方にお話をお聞きしました。

―勇壮な喧嘩祭ですが特に燈籠押しの昔はどんなでしたか―

昔の燈籠は今よりも大きくて、柱も太いものを使っていました。ぶつけ合う前に人形を外し、すじかいを入れて、更に押し合う時に力が入るようにはしごを五~六人が持って燈籠の後ろに付けてぶつけ合いました。また酒を飲んでいるものだから棒を持って相手方へ殴り込んだり、大喧嘩があったり、乱闘騒ぎもありました。

―なるほどまさに喧嘩祭だったようです。それから小須戸町史によると屋根石を投げたとありますが……―

昔は屋根が木端葺で石が上げてありました。その石を屋根の上の興奮した連中は無差別に投げつけたということもありました。

―危ないですね、頭にあたったら死んでしまいますね。しかし燈籠押しで死んだ人が出たとは聞きませんが―

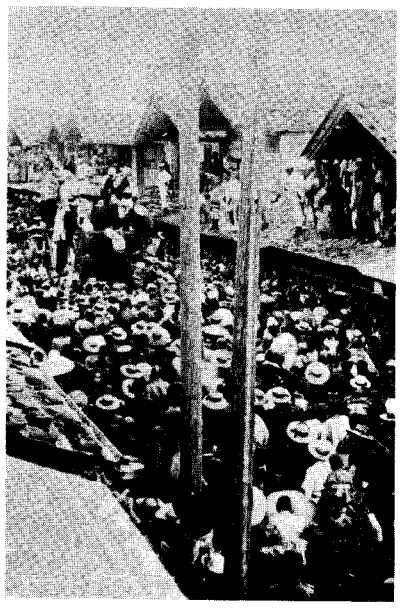
そうですね死んだ人はありません。

―その他、燈籠押しについて何か聞かせていただけますか―

町内毎に競い合い燈籠が大喧嘩になった時、燈籠押しが中止になったことがありました。(資料によれば大正四・五年頃)その後燈籠協会が発足し、協会で燈籠を作り、町内区分に手を加えて大喧嘩にならぬよう対策を立てたこともありました。

昔から喧嘩祭として内外に有名な祭で最近ではたびたびテレビで紹介されたりしています。その祭の昔の姿のほんの一部をのぞいて見ました。また私のために貴重な時間を使ってお話を聞かせていただき厚く感謝申し上げます。

(知野)



催しものご案内

昭和六十年度 ファミリーキャンプ講習会

期日 九月二十一日(土)~二十二日(日)
時間 午後一時三十分
集合場所 中央公民館
参加費 親子千五百円
申し込み 九月十六日までに中央公民館又は教育委員会社会体育森田まで

第六回 親善少年サッカー大会

期日 九月一日
会場 運動公園サッカー場

分館だより

矢代田分館

(主な行事予定)
◎**運動会** 九月二十九日(日)
会場 矢代田小学校グランド
◎**文化祭** 十月二十七日(日)
会場 矢代田小学校

第一回山ノ手地区 分館杯争奪ゲートボール大会開催

今年最初の矢代田分館主催によるゲートボール大会を行ないます。多数ご参加ください。

期日 昭和六十年八月三十日(金)午前八時三十分集合
場所 矢代田児童公園内特設ゲートボール場(二面)
参加条件 矢代田分館内に居住の者。
①チーム登録者は五~八名とする(監督は選手を兼ねることができる)
②年齢、性別不問、健康であること。
参加料 無料
用具 試合球、ゲート、ボールは大会本部で用意する
申し込み 八月二十五日までに矢代田小学校内、矢代田分館事務局まで申し込むこと。

納涼盆踊り

次代の担い手、小学生四、五、六年生十六名による大鼓さばきを披露いたします。多数おいでください。

日時 八月十六日(金)十七日(土)午後七時三十分~九時
場所 矢代田駅前通り
踊り 矢代田甚句 佐渡おけさ その他
主催 矢代田民謡友好会

新保分館

分館運動会開催

日時 八月十八日(日)午前九時開会
会場 新保地域研修センター広場(雨天は町民体育館)
隣り近所おさそいあわせのうえ、奮ってご参加ください。

横水分館

水田老人クラブ発会記念講演会

日時 八月二十七日(火)午後一時三十分
会場 水田集落センター
講師 中野粂男先生

分館運動会終る

炎天下の七月二十一日(日)、各種目に熱戦が繰り広げられ応援もしだいに盛り上り、真剣な顔あり笑いの顔ありでたのしい一日となりました。

成績

一位水田 二位小向 三位横川 四位文京町

分館野球大会結果(7/28)

一位横川チーム 二位文京町チーム 三位水田チーム 四位小向チーム

文化祭協賛 第三回 小須戸町々民俳句大会

―作品募集―

小須戸町俳句同好会・中央公民館主催による俳句大会を行います。流派に偏らない俳句大会です。町民の方々が奮ってご応募下さるようお願いします。

(一般の部)
日時―昭和六十年十一月三日
会場―小須戸町中央公民館
兼題―秋季雑詠未発表作品、三句以内、出句無料(官製葉書又は同型用紙使用のこと)
投句先―小須戸町中央公民館内 小須戸町町民俳句大会係宛
〆切―九月十五日(当日消印有効)
規定―小須戸町在住並びに通勤・通学者に限る。住所氏名明記のこと。(作品発表ペンネーム可)
選考―県内外著名俳人二十名の合点による

(学生の部 小・中・高校生)
一般の部に同じ……投句の際必ず学生と明記のこと。
表彰―町長賞・町議会議長賞・教育委員会賞・公民館長賞・俳句同好会長賞他二十位まで
主催―小須戸町中央公民館・小須戸町俳句同好会
後援―小須戸町・教育委員会・文化協会

第七回野球連盟設立記念大会

去る七月二十八日(日)熱風の中連盟設立記念大会が行なわれた。結果は次のとおりです。

Aブロック
一位 四ツ葉クラブ
二位 最終会

Bブロック
一位 文京町サニー
二位 金山ビギナーズ

Cブロック
一位 高ヶ沢野球団
二位 四ツ葉会

また第四回会長旗大会では

一位 最終会 二位 金山ビギナーズでした。

猛暑の去る七月二十八日(日)新津南高校テニスコートで熱戦が繰り広げられました。大会の結果は次のとおりです。

一般男子
一位小須戸クラブB 二位小須戸クラブA 三位新津高校

中学男子
一位藤見中 二位白根一中 三位小須戸中B

一般女子
一位小須戸中 二位新津南 三位巻西中

中学女子
一位白根一中 二位小合中A 三位小合中C

第二十三回 小須戸町近郷庭球大会結果

川柳教室作品

題「友人」 60年7月19日

爺さんのガールフレンド杖で来る　キン
友誘う電話の声を妻悟り　清作
爽やかさ添えて友より夏便り　信子
飲み仲間またつれて来て妻拝み　ただし
親友と軽く言われて払わされ　キヨノ
相槌もう限度です友の愚痴　みな
ライバルがなまけ心にハッパ掛け　玲子
親よりも色々話せる無二の友　タネ
あのことはお前だったか同級会(クラス)　常信
久し振り友のおとづれ呑み交す　ハナ
これからは話友達老夫婦　米二
戦友の声相変らずの四十年　武雄
友と宿語尾に夫も出て眠る　春江
戦友会尽きぬ偲(しの)い出語り合い　源吾

中学生文芸

―俳句クラブ作品―

前庭の紫陽花雨受け鮮やかに　川瀬直美
梅雨の空西の方向晴れている　吉沢恵
紫陽花がひっそり咲いて雨にぬれ　川瀬裕子
登校日こんなに焼けたと自慢する　吉田美佐子
ナイターの照明うつるガラス窓　白井美和
雲間から夏の日射しの照りつける　大野美奈
小紫陽花一つぽつんと草の中　野崎佳恵
ナイターの照明広がる夜の空　内山香
川岸の辺り一面緑色　古沢裕子
川端の緑草切られすっきりと　小紫由美子
たくさんの浴衣が並ぶ呉服店　高橋淳子

七月例会作品

小須戸町俳句同好会

古ミシン廃品に出す梅雨入かな　松山
掃除機の辷り鈍りぬ梅雨の畳　松男
骨太き農の年輪日焼首　良遊
梅雨雲の累々蝶の真白なり　太浪
よく見えて杉に最も梅雨の雨　素糸
除草剤配る年番五月尽　野蒜
鬼百合の朱く俯く無縁塚　露春
鮎釣りの無心に竿を流しけり　ミナ
翼振るごとく茄子の葉喜雨の中　虚秋
民宿のとびとびに在り花菖蒲　可津朋
児の描く紫陽花画紙に咲きあまる　冨沙子
色褪せし浴衣もありて山の宿　久子
寝果てて鮎一尾の土産かな　香月
花桐や昼を灯してポンプ小屋　美根子
旅の日は少し寝足らぬ青葉木菟　越楼
鮎釣りの笠に太字の羽黒山　秀穂

短歌

確かなる言葉訛りを懐しみ母にかかわる想い出を聴く　我妻清作
予らのおらぬ夏の校舎はせみしぐれ満ちてあれどもなおうら寂し　伊藤照渓